

学力向上だより “継続と徹底”

第94号 R5.3.29 (水)

佐賀県教育庁教育振興課

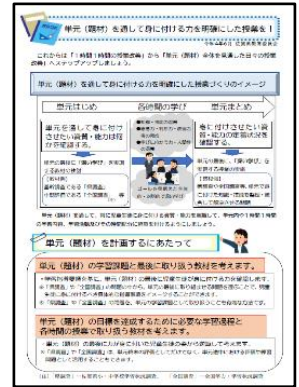


単元（題材）を通して身に付ける力を明確にした授業を！

県教育委員会では、「単元（題材）を通して身に付ける力を明確にした授業づくり」の推進に取り組んでいます。今年度は、学力向上プロジェクト委員による研究を進め、以下の3つのポイントを具現化した単元構成及び授業を公開しました。

「単元（題材）を通して身に付ける力を明確にした授業づくり」のポイント

- ① 単元に入る前に、単元（題材）を通して身に付ける力を明確にして、計画を立てること
- ② 計画を立てる際、県調査や全国調査がある教科については、調査問題を効果的に活用すること
- ③ 単元の最後に、単元に入る前に確認していた、身に付けさせたい力が身に付いたかどうか、その定着状況を確認すること



（リーフレット）

公開授業では小学校国語、小学校算数、中学校国語、中学校数学、中学校理科の5つの授業及び授業研究会を実施しています。

今回の実践内容を県内の先生方にも御活用いただくように、各教科の授業の様子をまとめた「実施報告書」、「学習指導案」を各学校等に送付しています。また、今後、調査問題の活用例を示した「調査問題活用計画書」を送付する予定としています。

これらの資料を参考に、単元（題材）全体を見通した日々の授業改善に取り組んでいただき、今後の先生方の指導力向上と児童生徒の学力向上につなげていただきますようお願いします。



授業研究会の様子

学力向上対策プロジェクト委員会（小学校国語科）
公開授業「単元（題材）を通して身に付ける力を明確にした授業」

佐賀県教育委員会では「単元（題材）を通して身に付ける力を明確にした授業づくり」の推進に取り組んでいます。その取組の中で、プロジェクト委員による研究を進めており、その考え方を具現化した授業を公開しましたので、紹介します。

- 1 授業日 令和4年11月8日（水）
- 2 授業者 島根 雅也 教諭（北九州立派小学校）
- 3 単元名 「資料を用いた文章の読解を考え、それをいかに書くか」（第5学年）
教科書 「国語が教えられること」「グラフや表を用いて書くこと」（教科書）
- 4 授業の様子
【本時の目標：自分の考えを伝えるために、目的に合った資料を選ぶことができる。【思考・判断・表現】

①調査問題を、資料を使う場面や目的、身に付ける力を確認している様子

②資料から読み取れることを確認している様子

③自分の意見に合った資料を選んでみる様子

④自分が選んだ資料が構成4の内容と合っているか、グループで確認し合う様子

5 公開授業参加者からの意見・感想など
・調査問題を単元に取り入れた授業の進め方を実際に見ることができ、イメージしやすかったです。
・複数の資料を開通付けて読み取って、学習指導の積み重ねの成果だと感じました。

小学校第5学年 国語科学習指導案

1 単元名	資料を用いた文章の読解を考え、それをいかに書くこと
2 単元について	【ポスター・授業時間の活用に関する内容】 ○「自分の意見に合った資料を選んでみる」を、自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。
3 単元の目標	文章を読み取った内容を自分の言葉で表現し、自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。
4 単元の評価基準	知識・技能 思考・判断・表現 非認知学習に身に付く態度 「文章を読み取った内容を自分の言葉で表現し、自分の意見に合った資料を選んでみる。」を、自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。
5 単元の指導と評価の計画	【全11時間】【単元】【単元】【単元】 時 単元学習活動 評価の観点【1】 1 ○「自分の意見に合った資料を選んでみる」の文章を読み、自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。 2 ○自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。 3 ○自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。 4 ○自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。 5 ○自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。 6 ○自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。 7 ○自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。自分の意見に合った資料を選んでみる。

調査問題単元活用計画

教材名「見立てる」【言葉の意味が分かること】（教科書）

単元を通して身に付ける力
【思考力、判断力、表現力】
A 読むこと
ア 事実と感想・意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
イ 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること。

内容	主な学習活動	評価	調査問題活用のポイント
1	○「見立てる」を読み、文章構成をとらえる。	【知】	
2	○「見立てる」の文章を読み、それぞれの段落の内容を要旨にまとめる。	【知】	
3	○「中」と筆者の考えのつながりを考え、「見立てる」の文章の要旨をまとめて、学習程度にまとめる。	【知】	
4	○「言葉の意味が分かること」を読み、文章構成をとらえる。	【知】	
5	○「言葉の意味が分かること」の文章を読み、「中」と「見立てる」の段落に書かれている筆者の考えの中心について考える。	【知】	
6	○「言葉の意味が分かること」の文章を読み、「中」の段落の内容を要旨にまとめる。	【知】	
7	○「中」と筆者の考えのつながりを考え、「言葉の意味が分かること」の文章の要旨をまとめて、学習程度にまとめる。	【知】	
8	○「中」の文章を生かして、問題を解き、要旨を確認する。	【知】	
9	○筆者の考えに対して、自分の考えをまとめる。	【知】	
単元学習	○要旨をまとめる学習をいかにして、問題を解く。	【知】	【令和4年度調査問題 第5学年大問②】 6年生の問題であるが、初めと終わりに筆者の考えが書かれていて、そこから大事な言葉を抜き出すことと類似している。

（実施報告書）

（学習指導案）

（調査問題活用計画書）

「わたしの取組紹介」～単元を通して身に付ける力を明確にした授業～

小学校第4学年 算数 (基里小：田中 香織 先生)

1 単元名 式と計算の順序

2 指導計画

時	主な学習活動	時	主な学習活動
1	式への表し方と、計算の順序を理解する。	6	分配法則など計算のきまりを使ってくふうして、計算する。
2	四則混合式での乗除の先行や()を省くことについて理解する。	7	乗法と除法、加法と減法の相互関係を理解し、計算をする。
3	四則混合式の計算の順序を理解し、それをまとめる。	8	学習のまとめ
4	具体例を通して、分配法則について理解する。	9	おもしろ算数 たし算 <u>(H29全国調査 小算B大問1の活用)</u>
5	いろいろな式の表す意味を図と結びつけて考え、そう考えた理由を図を使って説明することができる。		



3 本時の授業 (本時9/9)

○目標 問題場面からきまりを見い出し、そのきまりが成り立つ理由を、図を使って説明することができる。【思考・判断・表現】

○学習活動

1	<p>本時の問題と、めあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 2 3 4 5 6</p> <p>のカードから2枚を選んで2ケタの数字を作り、たしましょう。 答えを見て気付くことを考えましょう。 例 $13+31=44$</p> </div> <p>(め) たし算の答えのきまりを見つけよう。</p>
2	見通しを持つ
3	<p>問題解決をする。</p> <p>① きまりを見い出す</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人学び 協働的な学び 全員学び <p>② 見つけたきまりを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人学び 全員学び <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【きまり】</p> <p>たし算の答え = $11 \times (\text{カードをたした数})$</p> </div>
4	<p>本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(ま) たし算の答え = $11 \times (\text{カードの和})$ $= 11 \times (\square + \circ)$ で求められる。</p> </div>
5	本時の学習を振り返る。

応用

(H29全国調査 小算B大問1 ※一部掲載)

1

1から9までの数が書かれたカードが1枚ずつあります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

この中から2枚のカードを選んで、次のような2けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った2けたのひき算

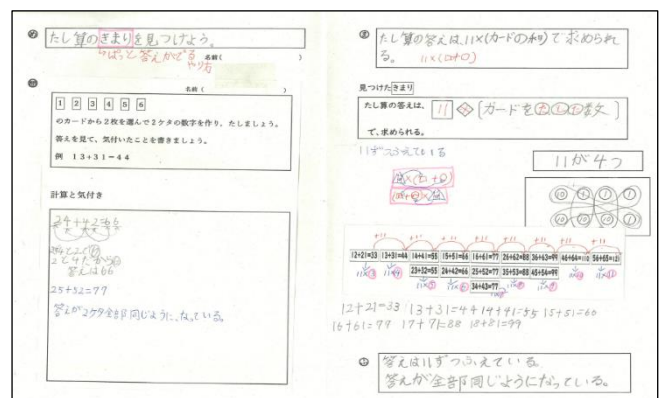
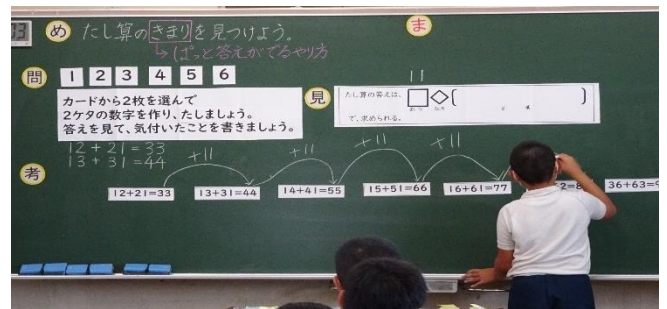
選んだ2枚のカードを並べて、2けたの整数を2つ作り、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、1と9を選んだ場合、19と並べると19がつくれます。91と並べると91がつくれます。

2けたのひき算の式 $91 - 19$

2けたのひき算の答え 72

※国立教育政策研究所のWebページから引用



(児童のワークシート)

さがん学びプロジェクト

～ 認めて、ほめて伸ばす「子どもの力」～



ほめるから、はじめる。
はじまる。

私たちは、佐賀県で学ぶ子どもたちが、夢や希望を抱きながら志をもってたくましく生き抜いていく力を身に付けてほしいと願っています。

そのためには、子どもたちの様々な活動場面の中で、取組の過程を認め、頑張りをほめたり、適切なアドバイスをしたりしながら、子どもの自己肯定感を育み、何事にも自分で考え・判断し・行動できる「主体性」を身に付けることが大切です。

学校内の教育活動はもとより、家庭や地域の中で子どもたちの成長を応援していく機運をさらに盛り上げていきましょう。

次は、令和4年度 全国学力・学習状況調査（児童生徒質問紙）の結果の一部です。

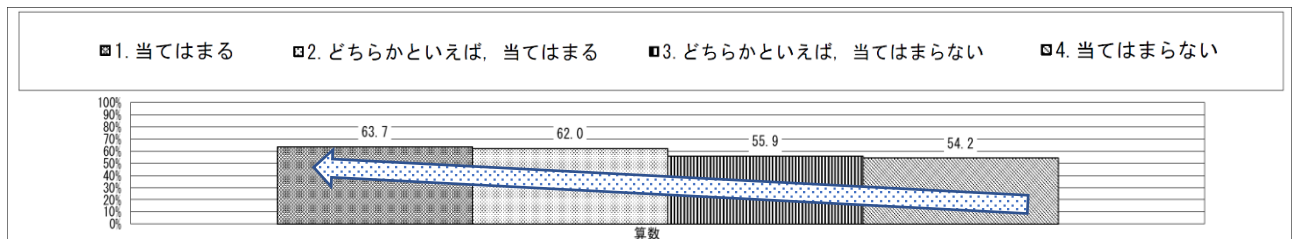


●先生は、あなたのよいところを認めてくれていると肯定的に回答した割合

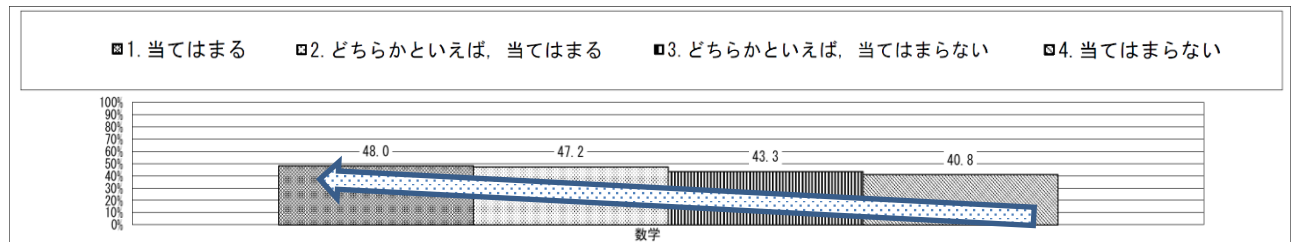
年度	小学校	中学校
平成26年度(基準)	78.9 %	72.1 %
平成29年度	85.2 % 増 6.3	79.5 % 増 7.4
令和4年度	85.9 % 増 7.0	84.7 % 増 12.6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒は、増加傾向にあります。

【小学校】 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うほど、児童の正答率が高い



【中学校】 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うほど、生徒の正答率が高い



※ グラフの傾向は、各教科で共通の傾向です。

生徒指導の機能を生かした授業づくりを！

自己存在感を与える
→「よくできたね」などと褒めたり、励ましたりする言葉をかけること など

自己決定の場を与える
→自分の考えをもたせ、それを伝える活動の場面を作ること など

共感的人間関係を育成する
→互いの意見を肯定的に受け止めたり、発言をつないだりすることができるようにコーディネートすること など

※「児童生徒の学力向上対策 4つの取組」リーフレットより

